

平成24年 林業における死亡労働災害（北海道内）

番号	災害発生日時等	年齢等	災害発生状況
24年 NO1	8月21日 9時台	男 70代	被災者は、民有林の間伐事業現場において、立木（胸高直径20 cm、カラ松）を伐倒したが、かかり木になった。 これを放置したまま、別の立木を伐倒していたところ、掛かっていた木が被災者の上に落下し被災したものの。
24年 NO2	8月22日 10時台	男 50代	被災者は、民有林の植林現場において、午前7時より刈払機を使用して地ごしらえ（笹刈り）作業に従事していた。 午前10時30分頃、熱中症により刈払機にもたれかかるように倒れていたのを同僚が発見したものの。
24年 NO3	9月30日 11時台	男 60代	被災者は、同僚5名とともに、村有林の林業現場において、立木（胸高径18 cm、カラマツ）を伐倒したが、かかり木になった。 これを放置したまま、かかられていた木を伐倒していたところ、かかっていた木が被災者の上に落下して被災したものの。
24年 NO4	12月21日 14時台	男60代	被災者は胸高直径24 cm、樹高21 cmのスギの木を伐倒したところかかり木となり、かかられた木を伐倒しようとして追い口を入れているところにかかり木が落下し下敷きとなったものの。